

WITH
YOU

より近く。より深く。
ともに未来へ。

こうゆう

ミニ・ディスクロージャー誌
[2020年3月期 営業の中間ご報告]

 千葉興業銀行



佐倉ふるさと広場

取締役頭取・CEO

梅田 仁司



ごあいさつ

このたびの令和元年台風15号、19号ならびに21号に伴う大雨により被災されたみなさまに、謹んでお見舞い申し上げます。

被災されたみなさまの一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、本ミニ・ディスクロージャー誌に当行の経営内容や業績、CSRへの取り組みなどをまとめました。ご高覧いただければ幸いです。

当中間期のわが国経済は、企業収益が底堅く、雇用環境の改善も続き、景気は緩

やかな回復基調で推移しました。当行グループが営業基盤とする千葉県は、一部に弱さが見られるものの、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善が続くなど、景気は緩やかに回復しております。

このような金融経済環境のもと、当行は2019年4月にスタートさせた中期経営計画「コンサルティング考動プロジェクト2022 ～より近く。より深く。ともに未来へ。～」に基づき、各種施策を積極的に展開しております。コンサルティング機能をさらに進化させ、お客さまが抱える事業承継や人材、経営効

率化などの経営課題やさまざまなニーズにお応えし、「コンサルティング考動の高度化」をさらに進めてまいります。

最後になりましたが、県内被災地域の復興支援と産業の維持・発展は、地元金融機関としての最大の責務と認識しております。株主、お取引先、地域のみなさまからのご期待にお応えできるよう、役職員一丸となって諸課題に取り組んでまいります。引き続き、ご指導、ご協力のほどお願い申し上げます。

2019年11月

“今”できることは何か？

2019年9月9日未明に上陸した台風15号に始まり、台風19号、21号に伴う大雨と、千葉県はこれまでに経験したことのない災害に襲われました。

当行の店舗等も被災しましたが、役職員一丸となり、全店休業することなく業務を継続しました。

「暑くて(ご来店いただいた)お客さまに、申し訳ない。」

電力が不安定な中、ATMの稼働などを優先したために、冷房がつけられず、暑い中で業務を続けた支店の行員。

「とにかく、(全部)出そう。」

すべての災害用備蓄水を、断水している地域の支店に届けることを指示した役員。

一人ひとりが、目の前にある、自分に「できる」ことを考え、行動しました。

「できない」こともある。

けれども、何か

「できる」こともあるんじゃないか？

「“今”できる」ことは何か？

ちば興銀は考えます。

地域のみなさまのために「できる」こと。

そして、地域のみなさまとともに。



9月14日～16日の連休中、ちば興銀は鴨川市吉尾公民館に電源車を派遣し、電源供給を行いました。

このたびの台風や大雨により被災されたみなさまに、謹んでお見舞い申し上げます。

ちば興銀では、被災されたみなさまの生活基盤の復旧や事業再生に関する融資相談に対応するための「災害復旧相談窓口」を設置しております。お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。みなさまが一日も早く復旧・復興されることを心よりお祈り申し上げます。

■災害復旧相談窓口

設置場所 全店舗

設置期間 2019年12月30日(月)まで

受付時間 平日9:00～15:00



「地方創生」 推進への取組み

ちば興銀は公的助成を活用した新商品開発や販路開拓、農業法人の設立支援など農工商連携による6次産業化、アグリ・フードビジネスの活性化に向けた取組みを行っております。

当行は資金提供のみでなく、お客さまとビジョンを共有し、未来戦略をともに創り、地域経済の持続的な成長を引き続き支援してまいります。



最新設備を導入した衛生的な豚舎

畜産業は、千葉県の主要な産業です。

畜産産出額の全国的位置(2017(平成29)年)

(単位:億円)

全国順位	農業産出総額	畜産産出総額	豚
1	北海道 12,762	北海道 7,279	鹿児島県 832
2	鹿児島県 5,000	鹿児島県 3,162	宮崎県 555
3	茨城県 4,967	宮崎県 2,260	千葉県 546
4	千葉県 4,700	岩手県 1,670	北海道 459
5	宮崎県 3,524	千葉県 1,432	群馬県 452

出典:農林水産省(平成29年生産農業所得統計)

千葉県の畜産業発展のため、6次産業化コンサルティングを実施!

千葉県の基幹産業である畜産業発展のため、食肉加工業者である田谷ミートセンター株式会社、養豚業者である有限会社下山農場と協働で、養豚事業を行う新たな法人を設立するコンサルティングを実施しました。

当行「アグリ・フードビジネス」担当者が当初より全面的にサポートを行い、事業計画の策定や認定農業者の取得支援を実施、あわせて事業性評価を行いました。

背景

安心・安全な原材料を
安定的に仕入れることが困難に

生産農家の減少

- 高齢化の進展
- 後継者の不足

畜産業の衰退

- 地方経済の縮小
- 地域の人口流出が加速

コンサルティング提案

養豚事業を行う
新たな法人を設立

認定農業者の取得支援

- 事業計画の策定サポート等

事業性評価の実施

- 政府系金融機関と連携して
低金利で事業資金をご融資

未来戦略

お客さまとちば興銀が描く、
これから

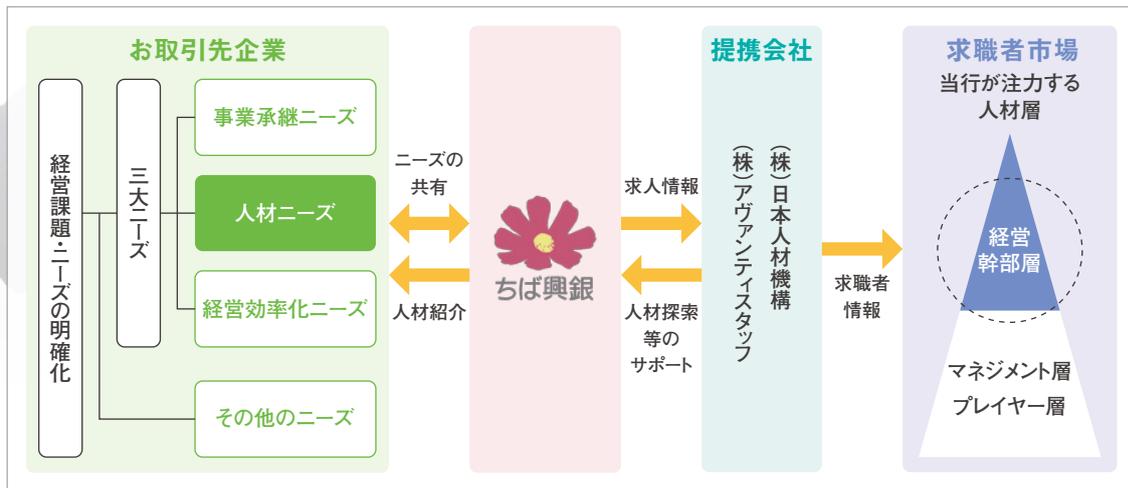
地域経済の活性化、 持続的な成長へ

- 地域雇用の創出
- 遊休用地等の活用
- 後継者の育成

人材紹介業務(有料職業紹介事業)への参入

ちば興銀では、お取引先の人材ニーズへの対応力を一層強化するため、関係当局の許可等を得て、有料職業紹介事業へ参入することといたしました。お取引先とビジョンを共有し、経営課題や人材ニーズを明確化することで、適切な人材をご紹介します。

特に、当行がこれまで培ってきた経営者に寄り添うコンサルティング力を活かし、経営幹部人材を中心とした紹介支援を行ってまいります。



ちば興銀はこれからも「コンサルティング考動」の進化を図り、各種コンサルティングへ積極的に取り組むことで、地域と産業、お客さま一人ひとりの未来を創造してまいります。

背景

人手不足や事業承継など、人材に関する経営課題が増加

人手不足

- 少子高齢化
- 事業承継者の不在

地域産業の衰退

ちば興銀のコンサルティング考動

お客さまの経営課題や人材ニーズに即した人材をご紹介します

2019年11月(業務開始予定)

「人材紹介業務(有料職業紹介事業)」に参入

サポート力をさらに強化

2018年7月

銀行内に「人材確保に関する相談窓口」設置

- 人手不足解消への提案
- 海外人材の活用
- 社員教育コンテンツの提供など

未来戦略

お客さまとちば興銀が描く、これから

事業の成長

- 人材の確保
- 後継者の育成
- 海外高度人材の登用

地域経済の活性化

- 地域産業の復興など

「J-Coin Pay」を利用した決済

千葉ロッテマリーンズのホーム球場「ZOZOマリンスタジアム」主催試合において、QRコードを活用したスマホ決済サービス「J-Coin Pay」導入によるキャッシュレス決済を開始いたしました。

「J-Coin Pay」の導入に伴い、2019年度レギュラーシーズン終了までの期間、マリンスタジアム内飲料販売（売り子からの飲料購入）の際、「J-Coin Pay」を利用された方全員に割引キャンペーンを実施いたしました。



※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

みずほ銀行が提供する「J-Coin Pay」は「送る」「送ってもらう」「支払う」ことに加え、金融機関の預金口座との入出金（チャージする/口座に戻す）についても、スマートフォン上のアプリを使い、「いつでも・どこでも・無料」でできるサービスです。

キャッシュレスにする
メリットはあるの？



「キャッシュレスの推進は、消費者に利便性をもたらし、事業者の生産性向上につながる取組み」（経済産業省HPより）といわれています。キャッシュレスには以下のようなメリットがあります。

事業者のメリット

- レジ締めや現金取扱いの時間短縮
- キャッシュレス決済に慣れた外国人観光客の需要の取込み
- データ化された購買情報を活用した高度なマーケティングの実現

消費者のメリット

- 消費履歴のデータ化によって、家計管理が楽になる
- 多額の現金を持ち歩かずに、紛失・盗難の心配なく買い物ができる



現在では、「クレジットカード」や「電子マネー」、スマートフォンを使った「QRコード」決済など多種多様なキャッシュレスがあります。

タッチ式の決済であればスピーディーですが、より高額な商品を購入するのであれば高いセキュリティが確保されたサインや暗証方式のも

のなど、消費行動や場面によって使い分けていく必要があります。

ちば興銀の預金口座を事前にご登録いただくことで、ご利用いただける主な「キャッシュレス決済サービス」

クレジットカード



電子マネー



スマホ決済サービス



デジタル化の推進により、
ちば興銀は、お客さまに「より近く。」

フィンテックの 取り組み

2019.8 パソコン・スマホから口座開設受付を開始!

パソコン・スマートフォンから、普通預金口座や、投資信託振替決済口座(NISA口座含む)の新規口座開設受付が可能となるサービスを開始いたしました。

ご自宅などからいつでも簡単にお申し込みができ、窓口にご来店いただくことなく、お手続きが完了します。Web口座のため、通帳の保管や記帳などの手間がいらず、紛失・盗難の心配もありません。



2019.7 タブレット端末による 生命保険の申込受付を開始!

2019.10 投資信託の 申込受付機能も追加!

タブレット端末による生命保険の申込受付等を開始いたしました。

各保険会社とのシステム連携によりご相談受付からご契約までの手続きが、原則タブレットで完結します。

2019年10月より、投資信託の申込受付機能も順次追加しております。

申込書類記入等のお客さまの手続き負担が軽減されるとともに、銀行側の手続きにかかる時間も短縮できることから、これまで以上にお客さまとのご相談時間を確保することが可能となりました。

ちば興銀では、デジタル化の推進により生み出された「時間」を、コンサルティングなど「人」にしかできないお客さまとの「時間」の充実に努めてまいります。

AIを活用した金融商品レコメンドシステムの開発・導入

ちば興銀は、2019年11月にクラウド上で稼働する、AIを活用した金融商品レコメンドシステムを、フィンクロス・パートナーシップ*参加行である群馬銀行、四国銀行、筑波銀行、福井銀行と協働で開発・導入いたしました。

本システムの導入により、金融商品の購入を

希望されるお客さまニーズの把握や資産形成に関わる情報提供等、より高度な営業施策の展開が期待できます。

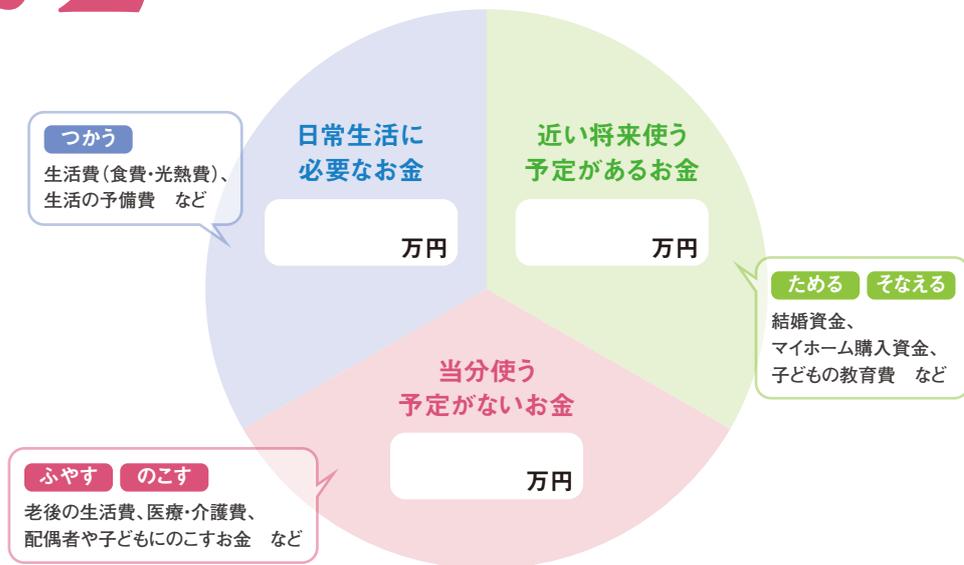
また、協働で開発・導入することにより、システム開発コストの軽減、本システムの活用ノウハウや知見の共有などのメリットがあります。

*フィンクロス・パートナーシップ

千葉興業銀行と、地方銀行7行(池田泉州銀行、きらぼし銀行、群馬銀行、山陰合同銀行、四国銀行、筑波銀行、福井銀行(2019年9月現在))がデジタル化の開発・研究を協働で行うことを目的として結んだ連携協定です。

① ライフプランにあわせて、資産を3つに色分けしてみましょう。

- 資産を「見える化」して運用できる資産を把握しましょう。



人生100年時代の ライフプラン

ちば興銀は、
お客さまの「未来」を創造してまいります

「人生100年時代」という言葉が認知されるようになって久しくなりますが、まさに日本は健康寿命世界1という、長寿社会を迎えています。長く、充実した人生にするためには、健康寿命とともに、資産寿命を延ばすことも必要になります。「今」と「将来」の備えのために、ご自身のライフプランにあわせた資産寿命についても考えてみませんか。



② 資産運用の「目的」に応じた金融商品を考えてみましょう。

金融商品選びのポイント

- 資産運用の目的を
考えること
- 理解できる金融商品
であること

定期預金など

近い将来に使う
予定のお金に
おすすめ

投資信託など

しばらく使う
予定のないお金に
おすすめ

個人年金保険など

将来・老後の
ためのお金に
おすすめ

資産運用の目的に応じた金融商品を選ぶことに加えて、金融商品をよく理解することが重要です。ちば興銀では、お客さまとともに、お客さまにあわせたライフプランを創るサポートをいたします。各店で開催される「休日お客さま相談会」や各種セミナーなどをぜひご活用ください。

土・日開催!

ちば興銀では、各店で
「休日お客さま相談会」・「年金相談会」を開催しています。

当行ホームページ(<https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>)から、ご来店のご予約が可能です。お近くのちば興銀で、みなさまのご来店をお待ちしております。

平日は
銀行に
いけない

資産運用
について
知りたい



いってみようかな? ちば興銀!

2019年9月、全国114銀行を対象として、日本経済新聞社と日経リサーチが共同で実施した「第15回銀行リテール力調査」で、ちば興銀は、**総合ランキング第15位**に躍進いたしました。

特に、**店頭サービスランキングは第5位**となり、県内地方銀行においては、いずれもトップとなりました。

当行は、2019年4月より「コンサルティング考動プロジェクト2022～より深く。より深く。ともに未来へ。～」を中期経営計画に掲げ、当行の強みであるコンサルティング機能や、お客さま目線での接客の強化に注力してまいりました。

ちば興銀はこれからもフィデューシャリー・デューティー(お客さま本位の業務運営)の実践と、コンサルティング考動の高度化を推進してまいります。

CSRの取組み

～地域社会・地域経済への貢献～

当行は、本業をつうじた「CSR(企業の社会的責任)活動」により、ESG(環境・社会・ガバナンス)の課題やSDGs(持続可能な開発目標)に積極的に取り組んでおります。

ESG(環境・社会・ガバナンス)



2006年国連により国連責任投資原則(PRI)が提唱され、企業分析・評価を行う上で、長期的な視点を重視し、ESG情報を考慮した投資行動を求める内容が示されました。

ESGとは、Environment:環境、Social:社会、Governance:ガバナンスの頭文字をとったものです。

SDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)



2015年に国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に、SDGs(エスディージーズ)が盛り込まれました。

SDGsとは、貧困の撲滅や自然環境の保全等、世界が持続可能な発展を実現するための開発目標で、17の目標と169のターゲットから構成されております。

Environment [環境]

環境への取組み

千葉県豊かな自然を未来に引き継いでいくための活動を行っております。



環境に配慮したエコ(eco)でやさしい店づくり

風力と太陽光の2つのクリーンエネルギーを利用したハイブリッド街路灯や、太陽光発電システム、千葉県産の間伐材を利用したATMコーナーポールの設置など、地球温暖化等の環境問題に配慮した店舗づくりを行っております。



環境美化活動

春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティアとして参加いたしました。

Social [社会]



文化・スポーツ活動

地域の芸術・文化の発展とスポーツ振興のため、長年にわたり、さまざまなイベントを協賛・開催しております。

夏休み体験隊 サマーキッズスクール2019

今年で13回目となる小学校5、6年生の児童を対象とした金融教育・しごと体験イベントを、ZOZOマリンスタジアムで開催いたしました。



社会奉仕活動

未来を担う子どもたちの安全と育成を願い、寄付・募金活動などにも積極的に取り組んでおります。

自転車反射板(サイクリフレクター)の贈呈

交通事故撲滅の願いをこめて、千葉県内の新中学生に、自転車反射板(サイクリフレクター)を贈呈いたしました。これまで25年間で、累計346,400個を贈呈しております。



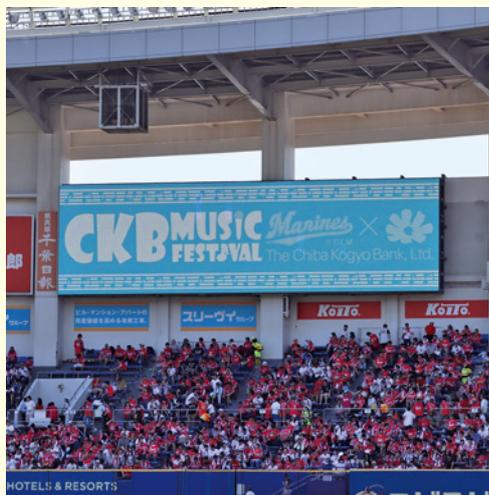
地域行事等への参加

地域のみなさまとのふれあいを大切に、地元の行事やイベント等に参加・協力しております。

ちば興銀マッチデー「CKB MUSIC FESTIVAL」

今年も、5月25日の千葉ロッテマリーンズVS福岡ソフトバンクホークス戦をちば興銀マッチデー「CKB MUSIC FESTIVAL」として開催いたしました。

先着20,000名さまにマリーンズキャラクターとコラボしたオリジナルうちわをプレゼントしたほか、ご来場のみなさまと一緒に楽しめるさまざまなイベントを開催いたしました。



Social [社会]



ダイバーシティ推進に向けた取組み

ちば興銀では、銀行で働く行員・スタッフがともに成長し、多様な人材が能力を発揮できる環境づくりに努め、企業価値の向上をめざしてまいります。

ポジティブ・アクション

女性の管理職への登用、営業店の融資事務・融資渉外業務や本部専門業務への職域拡大を推進しております。

- 女性行員の役席登用率(課長級以上)
(2019年9月30日現在)

18.01% 2022年3月
【目標】:20%

ワーク・ライフ・バランス

育児や介護に専念できるように、関連法規を上回る水準の行内規程を設けております。また、働き方改革として業務の見直しや意識の醸成を図り、有給休暇取得の推進を行っております。

「哲学対話」研修

若手行員の対話力と思考力を養成するため、「哲学対話」を研修に取り入れました。

「哲学対話」は近年注目されており、コンサルティング考動に必要な疑問を持つ力や、問いかける力など、思考を深め、考え抜く習慣をつけるための研修です。

ちば興銀は、コンサルティング・バンク確立実現のため、お客さまに寄り添ったコンサルティングやご提案のできる行員の育成に努めております。

被災されたみなさまの
復旧・復興に向けた
取組み

このたびの台風や大雨により被害を受けられたみなさまに、心よりお見舞いを申し上げます。

当行は地域に根ざした金融機関として、被災されたみなさまの資金面の支援はもとより、各地へのボランティア派遣活動など、引き続き、千葉県への復旧・復興支援に向けた取組みを行ってまいります。

これまでに当行が行ったボランティア派遣活動など

電源車派遣による停電地区の電気供給、水やブルーシート等の物資提供のほか、千葉県の地元3行(当行、千葉銀行、京葉銀行)が協力して、被災地域へのボランティア派遣を行いました。



鴨川市への電源車派遣と物資の提供



ちば興銀では、被災されたみなさまの救援や被災地の復旧・復興にお役立ていただくため、義援金1,000万円を千葉県へ拠出いたしました。

また、上記とは別に、ちば興銀「小さな親切」運動推進本部をととして、当行および関連会社の役員約2,500名が募金をいたしました。集められた義援金は、しかるべき機関に拠出し、被災地の復旧・復興支援に役立てていただきます。



鋸南町へのボランティア派遣



山武市へのボランティア派遣



富津市へのボランティア派遣

Governance [ガバナンス]

ガバナンスの高度化等のため、体制の強化を図りました。

基本的な考え方

当行におけるコーポレート・ガバナンスとは、株主をはじめ顧客、役職員、地域社会等のステークホルダーの立場を踏まえた上で、当行が透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みを意味しております。

当行の基本的価値観である企業理念「地域とともに お客さまのために『親切』の心で」の実践に向けて、実効的なコーポレート・ガバナンスの実現が必要不可欠であるとの認識に基づき、コーポレート・ガバナンスの強化および充実を最重要経営課題のひとつに位置付けております。

ガバナンス委員会

当行は、取締役会の諮問機関として社外役員を中心としたガバナンス委員会を設置しております。

ガバナンス委員会では、取締役および監査役等の役員の指名および選解任、並びに取締役等の役員の報酬に関する事項等について、公正・客観的な視点で審議を行っております。

ガバナンス委員会の機能を最大限発揮する仕組みを構築することで、取締役会の実効性向上、ひいては当行の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図っております。

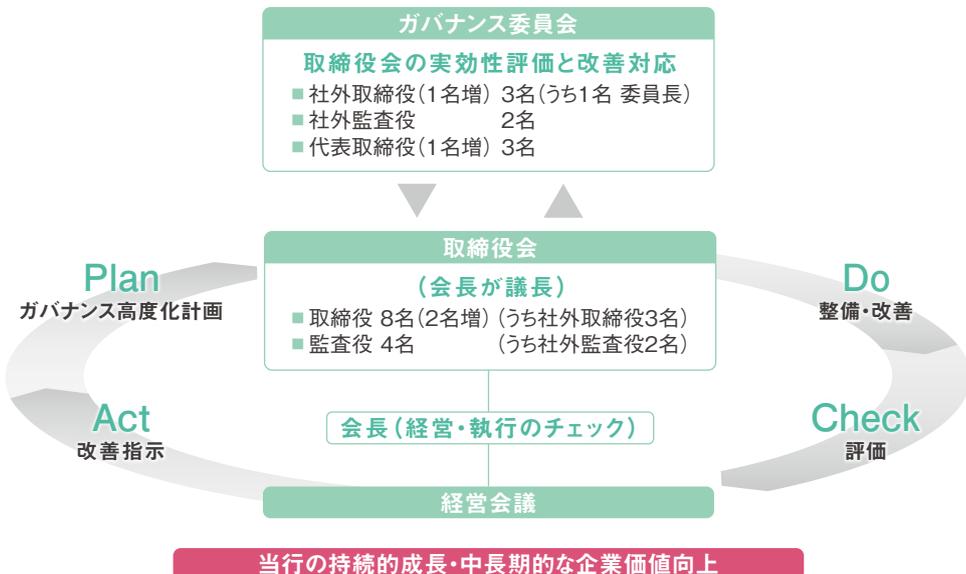
ガバナンス体制強化

実施事項

- 会長職の設置
- 社外取締役の増員

めざす効果

- 執行に対する監督機能強化
- ガバナンス高度化を目的とする取締役会の多様性・独立性の強化
- 取締役会によるガバナンス委員会の活用強化

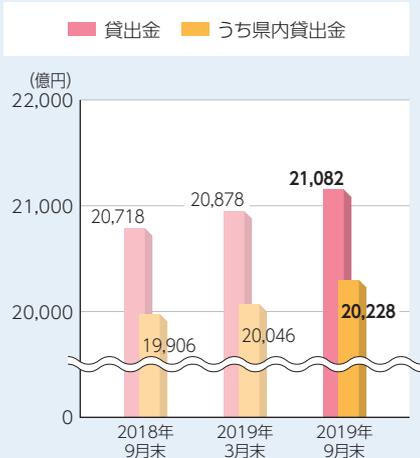


業績のご報告(単体)

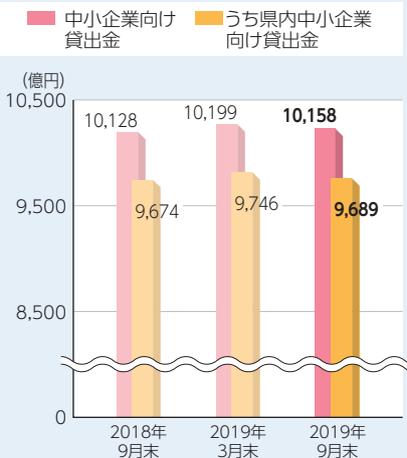
グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

貸出金残高は、前年同期比364億円増加の2兆1,082億円(年間増加率1.7%)となりました。
このうち、中小企業向け貸出金残高は同30億円増加、住宅ローン残高は同308億円増加しました。

貸出金残高



中小企業向け貸出金残高

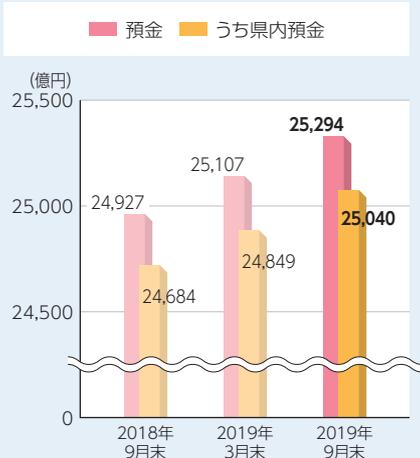


住宅ローン残高



預金残高は、前年同期比367億円増加の2兆5,294億円(年間増加率1.4%)となりました。
このうち、個人預金残高は同135億円増加の1兆9,002億円となりました。

預金残高



個人預金残高



預り資産

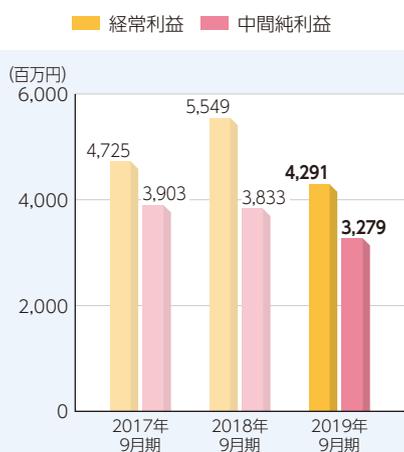


(注)当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

業績のご報告(単体)

経常利益は、前年同期比12億57百万円減少の42億91百万円、中間純利益は、同5億54百万円減少の32億79百万円となりました。金融再生法基準の開示債権残高は、2019年3月末並みの308億円となりました。

経常利益・中間純利益



自己資本比率(バーゼルⅢ)



開示債権比率・残高(金融再生法基準)



事業性評価への取組み

地域密着型金融の推進による地域経済や地元の産業・企業の発展への貢献に向け、財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、お取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に把握した上で(事業性評価)、これまで以上に、企業の各種ニーズや経営課題に対する各種ソリューションを提供してまいります。

事業性評価にあたっては、お取引先企業の財務状況などの定量的な分析に加え、企業のビジネスモデル、商流、組織力、技術力といった定性的な分析を行い、経営課題やニーズの把握を行ってまいります。

経営者保証に関するガイドライン

経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の促進と、既存の保証契約の見直しに取り組んでおります。

	2018年度実績	2019年度上期実績
新規で無保証で融資した件数	1,955件	834件
保証契約を変更した件数	6件	30件
保証契約を解除した件数	68件	58件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	16.6%	16.9%

財務諸表(単体)

◎第98期中(2019年9月30日現在)中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	156,769	預金	2,529,484
買入金銭債権	97	譲渡性預金	76,000
商品有価証券	105	コールマネー	3,238
有価証券	511,716	債券貸借取引受入担保金	4,473
貸出金	2,108,276	借入金	3,886
外国為替	2,693	外国為替	117
その他資産	18,411	その他負債	17,738
その他の資産	18,411	未払法人税等	240
有形固定資産	20,630	リース債務	534
無形固定資産	2,527	その他の負債	16,964
支払承諾見返	10,846	退職給付引当金	4,831
貸倒引当金	△6,000	睡眠預金払戻損失引当金	587
		繰延税金負債	1,365
		支払承諾	10,846
		負債の部合計	2,652,570
		(純資産の部)	
		資本金	62,120
		資本剰余金	17,802
		資本準備金	6,971
		その他資本剰余金	10,831
		利益剰余金	74,409
		利益準備金	5,952
		その他利益剰余金	68,457
		繰越利益剰余金	68,457
		自己株式	△448
		株主資本合計	153,884
		その他有価証券評価差額金	19,547
		評価・換算差額等合計	19,547
		新株予約権	70
		純資産の部合計	173,501
資産の部合計	2,826,072	負債及び純資産の部合計	2,826,072

◎第98期中(2019年4月1日から2019年9月30日まで)中間損益計算書(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	21,401
資金運用収益	14,360
(うち貸出金利息)	(10,765)
(うち有価証券利息配当金)	(3,394)
役員取引等収益	4,168
その他業務収益	477
その他経常収益	2,395
経常費用	17,110
資金調達費用	340
(うち預金利息)	(159)
役員取引等費用	2,462
その他業務費用	12
営業経費	13,071
その他経常費用	1,223
経常利益	4,291
特別損失	15
税引前中間純利益	4,275
法人税、住民税及び事業税	30
法人税等調整額	966
法人税等合計	996
中間純利益	3,279

◎第98期中(2019年4月1日から2019年9月30日まで)中間株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金			評価・換算差額等合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	繰越利益剰余金						
当期首残高	62,120	6,971	10,826	17,798	5,740	66,448	72,189	△15	152,092	14,250	14,250	69	166,413
当中間期変動額													
剰余金の配当					211	△1,271	△1,059		△1,059				△1,059
中間純利益						3,279	3,279		3,279				3,279
自己株式の取得								△440	△440				△440
自己株式の処分			4	4				6	11				11
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)										5,296	5,296	0	5,296
当中間期変動額合計	-	-	4	4	211	2,008	2,220	△433	1,791	5,296	5,296	0	7,088
当中間期末残高	62,120	6,971	10,831	17,802	5,952	68,457	74,409	△448	153,884	19,547	19,547	70	173,501

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表(連結)

◎第98期中(2019年9月30日現在)中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	156,802	預金	2,517,385
買入金銭債権	97	譲渡性預金	76,000
商品有価証券	105	コールマネー及び売渡手形	3,238
有価証券	511,812	債券貸借取引受入担保金	4,473
貸出金	2,104,887	借入金	18,877
外国為替	2,693	外国為替	117
その他資産	44,237	その他負債	27,109
有形固定資産	20,756	退職給付に係る負債	7,487
無形固定資産	2,738	役員退職慰労引当金	56
繰延税金資産	873	睡眠預金払戻損失引当金	587
支払承諾見返	10,846	繰延税金負債	1,565
貸倒引当金	△8,029	支払承諾	10,846
		負債の部合計	2,667,746
		(純資産の部)	
		資本金	62,120
		資本剰余金	17,802
		利益剰余金	79,118
		自己株式	△448
		株主資本合計	158,592
		その他有価証券評価差額金	19,579
		退職給付に係る調整累計額	△1,732
		その他の包括利益累計額合計	17,847
		新株予約権	70
		非支配株主持分	3,563
		純資産の部合計	180,073
資産の部合計	2,847,820	負債及び純資産の部合計	2,847,820

◎第98期中(2019年4月1日から2019年9月30日まで)中間連結損益計算書(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	25,711
資金運用収益	13,985
(うち貸出金利息)	(10,776)
(うち有価証券利息配当金)	(3,007)
役員取引等収益	4,665
その他業務収益	477
その他経常収益	6,583
経常費用	20,950
資金調達費用	387
(うち預金利息)	(159)
役員取引等費用	2,083
その他業務費用	12
営業経費	13,126
その他経常費用	5,341
経常利益	4,760
特別損失	15
税金等調整前中間純利益	4,745
法人税、住民税及び事業税	264
法人税等調整額	1,043
法人税等合計	1,307
中間純利益	3,437
非支配株主に帰属する中間純利益	202
親会社株主に帰属する中間純利益	3,234

◎第98期中(2019年4月1日から2019年9月30日まで)中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	62,120	17,798	76,942	△15	156,845	14,277	△1,891	12,386	69	3,281	172,583
当中間期変動額											
剰余金の配当			△1,059		△1,059						△1,059
親会社株主に帰属する中間純利益			3,234		3,234						3,234
自己株式の取得				△440	△440						△440
自己株式の処分				6	11						11
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)		4				5,302	158	5,460	0	281	5,742
当中間期変動額合計	-	4	2,175	△433	1,747	5,302	158	5,460	0	281	7,489
当中間期末残高	62,120	17,802	79,118	△448	158,592	19,579	△1,732	17,847	70	3,563	180,073

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

株式の状況 (2019年9月30日現在)

1 株式数

株式の種類	発行可能株式総数
普通株式	296,000千株
第二種優先株式	5,000千株
第四種優先株式	7,500千株
第1回第五種優先株式	700千株
第2回第五種優先株式	700千株
第3回第五種優先株式	700千株
第4回第五種優先株式	700千株
第5回第五種優先株式	700千株
第6回第五種優先株式	700千株
第7回第五種優先株式	700千株
第8回第五種優先株式	700千株
第9回第五種優先株式	700千株
第10回第五種優先株式	700千株
第1回第六種優先株式	700千株
第2回第六種優先株式	700千株
第3回第六種優先株式	700千株
第4回第六種優先株式	700千株
第5回第六種優先株式	700千株
第6回第六種優先株式	700千株
第7回第六種優先株式	700千株
第8回第六種優先株式	700千株
第9回第六種優先株式	700千株
第10回第六種優先株式	700千株
第1回第七種優先株式	700千株
第2回第七種優先株式	700千株
第3回第七種優先株式	700千株
第4回第七種優先株式	700千株
第5回第七種優先株式	700千株

(注) 第1回ないし第10回第五種優先株式の発行可能種類株式総数は併せて2,500,000株、第1回ないし第10回第六種優先株式の発行可能種類株式総数は併せて2,500,000株、第1回ないし第5回第七種優先株式の発行可能種類株式総数は併せて2,500,000株をそれぞれ超えないものとしております。

株式の種類	発行済株式の総数
普通株式	62,222千株
第二種優先株式	5,000千株
第1回第六種優先株式	600千株
第1回第七種優先株式	653千株

(注) 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

2 株主数

株式の種類	株主数
普通株式	11,472名
第二種優先株式	1名
第1回第六種優先株式	22名
第1回第七種優先株式	176名

3 大株主

株式の種類	株主の氏名又は名称	当行への出資状況	
		持株数等(千株)	持株比率(%)
普通株式	株式会社みずほ銀行	9,583	15.79
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,351	3.87
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,084	3.43
	坂本飼料株式会社	1,249	2.05
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,215	2.00
	DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,171	1.93
	GOVERNMENT OF NORWAY	1,158	1.90
	明治安田生命保険相互会社	1,158	1.90
	千葉興業銀行行員持株会	1,129	1.86
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,068	1.76
第二種優先株式	株式会社みずほ銀行	5,000	100.00
	興銀リース株式会社	100	16.66
	東京建物株式会社	100	16.66
第1回第六種優先株式	芙蓉総合リース株式会社	100	16.66
	安田不動産株式会社	100	16.66
	株式会社クレックス	30	5.00
	株式会社サトー商会	25	4.16
	東武鉄道株式会社	20	3.33
	株式会社オリエンタルランド	15	2.50
	成田山新勝寺	15	2.50
	公益財団法人日産財団	15	2.50
	大成建設株式会社	40	6.12
	沖電気工業株式会社	20	3.06
第1回第七種優先株式	株式会社クレックス	20	3.06
	住友不動産株式会社	20	3.06
	東京建物株式会社	20	3.06
	明治安田生命保険相互会社	20	3.06
	株式会社ヤクルト本社	18	2.75
	芙蓉総合リース株式会社	16	2.45
	サッポロホールディングス株式会社	12	1.83
	イオン株式会社	10	1.53
	株式会社カクタ	10	1.53
	キョーマン株式会社	10	1.53
坂本飼料株式会社	10	1.53	
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	10	1.53	
成田山新勝寺	10	1.53	
平山恒産株式会社	10	1.53	
フクダ電子株式会社	10	1.53	
安田不動産株式会社	10	1.53	

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 普通株式の持株比率は自己株式(1,545千株)を控除して算出し、すべて小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式のご案内

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当受領株主確定日

期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日

定時株主総会

毎事業年度終了後3ヵ月以内に開催

基準日

定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日

単元株式数

100株

公告方法

電子公告
(当行ホームページ <https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部

単元未満株式の買取請求について

単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(買取制度)がございますので、どうぞご利用ください。

特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)において受け付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

特別口座株式のご売却について

特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

株主名簿管理人
(特別口座管理機関) **みずほ信託銀行株式会社**

お問い合わせ先(郵便物送付先)

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324
ご利用時間 9:00~17:00 土・日・祝日を除く

株主さまのご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主さまのご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたします。

このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。
株主さまのご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

格付け、利益配分に関する基本方針、株主優待制度

格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家のみなさまやお取引先のみなさまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、2006年10月に株式会社日本格付研究所（JCR）から長期発行体格付^(※1)を取得し公表しております。



(格付けの公表:2019年9月18日)

(※1)長期発行体格付:債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

利益配分に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

普通株式の配当	当期の普通株式の配当につきましては、5月に公表のとおり本年度末に1株当たり3円の配当を実施したいと存じます。
優先株式の配当	当期の優先株式の配当につきましては、5月に公表のとおり本年度末に、所定の配当を実施したいと存じます。

株主優待制度

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度をご用意しております。

2019年3月31日現在で、千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」の制度をお取扱いしております(2019年7月1日～2020年3月31日)。

「さわやかハロー24」^(※2)ともども、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

(※2)「さわやかハロー24」:当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関のご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用になれます。

プロフィール Profile (2019年9月30日現在)

名称	株式会社千葉興業銀行 〔英文表示〕 The Chiba Kogyo Bank, Ltd.	資本金	621億2,053万3,949円
本店所在地	千葉市美浜区幸町二丁目1番2号	店舗数	74店舗 (県内72店舗、都内2店舗)
設立年月日	1952年1月18日 (営業開始:1952年3月3日)	従業員数	1,401名

ちば興銀カードローン・フリーローン宣伝キャラクターとして、株式会社サンリオの「アグレッシブ烈子」が就任しました!!

アグレッシブ烈子



©2015, 2019 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. G603036 S/T・F

目次 Contents

01-02	ごあいさつ
03-04	“今”できることは何か? 災害復旧相談窓口
05-08	特集1 「地方創生」推進への取り組み
09-10	特集2 「キャッシュレス」の推進
11-12	TOPICS1 フィンテックの取り組み
13-14	TOPICS2 人生100年時代のライフプラン
15-22	CSRの取り組み •Environment[環境] •Social[社会] •Governance[ガバナンス]
23-26	業績のご報告(単体)
27-28	財務諸表(単体)
29-30	財務諸表(連結)
31-32	株式の状況
33	格付け、利益配分に関する基本方針、株主優待制度
34	プロフィール/目次



ちば興銀を
もっと身近に!

さらに詳しい情報は千葉興業銀行ホームページをご覧ください。

<https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>

ちば興銀

検索



千葉興業銀行

〒261-0001

千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111(代表)